

高岸(高) 逃げ切り初V

都(シクラ) 追い上げ2位

ゴルフ

四国女子アマ選手権

ゴルフの第42回四国女子アマチュア選手権は11

日、香川県の満濃ヒルズカントリークラブ(6080坪、パー72)で最終ラウンドが行われた。初日を首位発進した生光亭高岸と都は上位4人に与えられる日本女子アマ選手権(6月13、16日・秋田CC)の出場権を得た。徳島県関係ではこのほか、36位の白井聖子(ゲランディ)が25歳以上の上位6人に入り、日本女子ミッドアマ選手権(11月9、10日・Jクラシック

最終日を2オーバーの74で回り、通算3アンダーで初優勝した高岸＝香川県の満濃ヒルズCC

最終成績(8位タイまで)

①高岸 鈴(高 原)	-3	141(67、74=37、37)
②都 玲華(Jクラ)	-2	142(72、70=37、33)
②菊田 ひな(高 松)		142(70、72=34、38)
④川上 知夏(エリエ)	-1	143(73、70=35、35)
⑤松浦 葵(小豆島)	0	144(75、69=34、35)
⑤三瀬 舞愛(宇和島)		144(72、72=36、36)
⑦土井かれん(琴 平)	+1	145(72、73=37、36)
⑧片岡 佳央(松 山)	+2	146(77、69=33、36)
⑧井上蒼海奈(パシフ)		146(75、71=37、34)
⑧堂西亞希子(屋 島)		146(75、71=35、36)
⑧森村 美優(屋 島)		146(73、73=37、36)
⑧田口 夏鈴(スカイ)		146(71、75=36、39)

※表中のJクラはJクラ、シクラはシクラ、小豆島は小豆島、宇和島は宇和島、琴平は琴平、松山は松山、パシフはパシフ、屋島は屋島、スカイはスカイ

(Jクラシック)は2アンダーの70で通算142とし、2位タイだった。高岸と都は上位4人に与えられる日本女子アマ選手権(6月13、16日・秋田CC)の出場権を得た。徳島県関係ではこのほか、36位の白井聖子(ゲランディ)が25歳以上の上位6人に入り、日本女子ミッドアマ選手権(11月9、10日・Jクラシック

クへの参加資格を手にした。(秋月悠)

徳島県関係

①森田彩夏(屋島、徳島大) 151(77、74=36、38) ②高松書(屋島、生光亭) 153(74、79=39、40) ③の島勝ひなた(SG) 156(74、82=37、45) ④前妻 月の宮 160(80、80) ⑤森本寿叶(スカイ) 164(84、80=44、84) ⑥白井聖子(ゲランディ) 164(85、79=44、86) ⑦村屋咲 月の宮 170(84、86=43、83) ⑧森本桃(鳴門) 173(83、90=46、44) ⑨久原孝子(レオマ) 175(91、84=44、43) ⑩田中寿子(オオ) 178(89、89=44、44)



⑨宇城由美(鳴門) 184(88、96=46、50) ⑩浦野裕花(Jクラ) シック 187(91、96=48、48) ⑪郷田和子(御所) 188(95、93=44、49) ⑫小川琴海(月の宮) 190(93、97=45、52)

都玲華(初日5位タイから追い上げ1打差の2位)「260台で回った上での優勝を狙っていたので悔しい。調子が悪くてもイーブンやアンダーで回るという目標を達成できたのは収穫だった」

強気の姿勢貫く

○：初日に3打差のリードを築いた高岸(高岸)が逃げ切り、初戴冠。伸び盛りの16歳は「不思議と緊張しなかった。優勝を狙っていたのでうれし」と声を弾ませた。初日は「自分でもびっくりする出来」という5アンダーでの首位発進。ところが、最終日は3バーディー5ボギーと出入りが激しかった。前半2、3番ホールはグリーンを狙った位置に寄せられず、3パットして連続ボギー。強気の攻めを貫いたものの、最後までシヨ

ットの精度にむらが出た。初出場となる日本女子アマでは予選を突破し、20位以内に入ることを目標に掲げる。「思った通りの球筋に打てるようもっと練習する」と話した。